

北海道医歌人会詠草

春の愁い

ステートの下に輝く胸のつぼみ少年の悩みもここに始まる

蒼白き我が青春と対極の高校球児のまぶしき肉体

恋猫のごとくに夜をさまよいし想い出苦きふるさとの町

同じように種子をまいても芽の出ない花もあるのと教わる春にて

若ものよ・この大空に飛び立つか・現実厳しき就職氷河期

銅路 児玉 昌彦

宮島沼にて

春風を羽に受けとめ白鳥は朝やけの空軽やかに飛ぶ

白鳥は悲しからずやと牧水は詠めりたしかにその声聴けば

月明り浴びて眠れる白鳥の夢は遙かな湖ならむ

羽と羽触れあふほどの沼の鳥幻のごと消えし朝かな

せわしなく翼動かすマガンはただひたむきに飛ぶ北を目指して

栗山 高田 剛太

残像

若き日にアララギ歌会の末席で小國先生の歌評をひそと聞きおり

何時の日か再会の機会があるかも心待ちせしがそれももうかなわず

長らへしか八十一才の誕生日断ち難きことの多き此の頃

早逝せし父の寫眞を今知りて言葉にならぬ言葉つばやく

義理とは言え吾れに医学を学ぶべく力注ぎくれし義父も父なり

旭川 稲積 文子

人それぞれ

梅雨空にうつうつとして過ごすことあるという人ないという人

花咲くも年年歳歳花同じ同じからざる人少しいて

草食と肉食系に区分とは人間本来雑食系

盛大な歓送会の影にあるこの上司とは「はい」さようなら

食べ物につらい想い出あればこそ味の好みなど「勝手ニセー」

江別 三宅 浩次

ゴールド

ゴールドを飾れぬ思ひ胸に秘めソチに目向くるアスリートらは

国会にたるみおくれし三人組国民らに対し shame on you!!

五〇年経て起きたりしメダクエーク警戒せよとふ天の戒め

政争をテーマにとり上ぐドラマ多し市民に対する警鐘なるや

おろかなる人類のトラブル横目にしそ知らぬ如く蕾膨らむ

札幌 山口 康徳

小國孝徳先生を悼む

大倉山宮様大会制覇して北大生立てり皇紀二千六百年

強風にライバルあまた転ぶなか立ちて栄誉を掴み獲りたる

南の島饑餓とマラリア堪え凌ぎ惜しくも盡さし子を殘す運

潮音系強き小樽にアララギの小國あること知るは少数派

さが歌魚住先生褒め給う「さやけく徹る時計台の鐘」

札幌 古屋 統

追悼

届きたる同窓会誌のグラビアに君の遺せしK2ありき

同窓会の出席稀に君は世界の十四峰をクリアしたると

憧れのチョモランマよりK2まで真面に仰ぎし君は亡きかも

美唄 吉村 誠治

(畏友塚本君)

北大と歌を一生愛したる小國先生に我も学ばむ

平松・小國両先輩の挾北海道医家人会詠草守り行きたし

(小國先生)

トビシヤガ

鉢植えのトビシヤガ咲きて夕べにはもはや萎えつつ三月十日

合掌に回診医手を重ねれば微笑とともにわづかうなづき

夢枕亡夫来ませりと招かずし妻よろしくとナースに言ひし

シャトルバス待つ人の列難の日にオープン戦の野球場行き

雪ひらは真下に向かふ道歩く人ら行き交ふ急くもおのおの

札幌 浜島 泉